

平成23年度

(社)日本地すべり学会東北支部 第27回総会

議案書

日時：平成23年7月15日（金） 13：30～16：30

場所：東北工業大学八木山キャンパス 131番教室

仙台市太白区八木山香澄町35-1

総会次第

1. 開 会

2. 支部長挨拶

3. 議 事

- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 第1号議案 | 平成22年度事業報告                   |
| 第2号議案 | 平成22年度収支決算報告<br>平成22年度会計監査報告 |
| 第3号議案 | 平成23年度事業計画(案)                |
| 第4号議案 | 平成23年度収支予算(案)                |
| 第5号議案 | 代議員選挙の実施について                 |
| 第6号議案 | 東日本大震災の対応について                |
| 第7号議案 | 支部表彰規程の一部修正                  |

4. 報 告

5. 閉 会

## 第1号議案 平成22年度事業報告

### 1) 総会・意見交流会

6月4日、仙台市戦災復興記念館地下大ホールで支部総会。参加者 支部総会・シンポ146名、意見交流会35名。

### 2) シンポジウム

総会后、同会場にてシンポジウムを開催。テーマ「地震時の斜面災害ーこれまでの経験から学び取ったこと、そして今後の地域防災に向けてー」。基調講演・丸井先生、シンポ話題提供4名。

### 3) 現地検討会

10月28・29日の二日間、青森県十和田市内の蔦川地すべり・奥入瀬地すべりの二つを対象として開催。参加者58名。現地の資料提供・説明等で青森県県土整備部、三八上北森林管理署にご支援いただいた。

### 4) 社会貢献・会勢活動(出前講習会)

①9月1日、平成22年度治山研修(東北森林管理局主催)に山科副幹事長、濱崎幹事を派遣。受講者:治山担当者25名。

②11月10~12日、平成22年度治山技術現地「地すべり」研修(林野庁主催)に千葉幹事長、山科副幹事長、小原会員の三名を派遣。受講者:都道府県担当職員他25名。

### 5) 研究活動(地震地すべりプロジェクト)

荒砥沢地すべり現地見学会・コア観察会を6月5・6日に栗駒ハイルザーム(栗原市内)で開催。地震地すべりプロジェクト第8分会小分科会、東北支部と東北森林管理局と共催。日帰り27名、宿泊29名、計56名参加。

### 6) 他学協会との交流活動

平成23年2月3日、「”だいち”衛星画像を活用した国土基盤整備シンポジウム」(同実行委員会主催)に支部が後援として参加。檜垣支部長が事例報告。

### 7) 広報活動

①ホームページについては、行事開催の都度update。

### 8) 運営委員会、幹事会、役員会

#### ① 運営委員会

平成23年3月3日 ㈱復建技術コンサルタント 会議室(18名出席)

#### ② 幹事会

平成22年5月22日 ㈱テクノ長谷 会議室(16名出席)

平成22年9月14日 ㈱テクノ長谷 会議室(15名出席)

平成23年1月17日 ㈱テクノ長谷 会議室(11名出席)

#### ③ 役員会

幹事会他、上記の行事の際に同時開催(4回 6名出席)

第2号議案 平成22年度収支決算報告

(収入の部) (単位:円)

科 目	区分	当年度予算	当年度決算	比較増減	備考
本部交付金	10	300,000	300,000	0	
助成金	11	300,000	300,000	0	
受託残金	12	0	0	0	
協賛金・寄付金	20	400,000	400,000	0	
支部協賛金	21	400,000	400,000	0	
事業収入	30	700,000	1,143,000	-443,000	
意見交流	31	150,000	160,000	-10,000	
現地検討	32	450,000	610,000	-160,000	
講習会(コア観察会)	33	100,000	373,000	-273,000	
雑収入	40	0	185	-185	
利子	41	0	185	-185	
寄付	42	0	0	0	
当期収入合計		1,400,000	1,843,185	-443,185	
前期繰越収支差額		732,207	732,207	0	
収入合計		2,132,207	2,575,392	-443,185	

(支出の部) (単位:円)

科 目	コード	当年度予算	当年度決算	比較増減	備考
総会関係費	60	100,000	59,750	40,250	
事業企画費	70	110,000	27,153	82,847	
運営委員会	71	5,000	0	5,000	
幹事会	72	5,000	2,313	2,687	
役員会	73	5,000	0	5,000	
部会	74	5,000	0	5,000	
通常旅費・交通費	75	80,000	24,840	55,160	
緊急調査費	76	5,000	0	5,000	
資料	77	5,000	0	5,000	
事業運営費	80	920,000	1,175,007	-255,007	
意見交流	81	150,000	138,000	12,000	
シンポジウム・特別講演会	82	60,000	82,500	-22,500	
発表討論会	83	0	0	0	
現地検討会	84	450,000	561,507	-111,507	
支部だより	85	150,000	0	150,000	
会勢活動	86	5,000	0	5,000	
他学会共催行事	87	5,000	0	5,000	
講習会(コア観察会)	88	100,000	393,000	-293,000	
研究委員会	90	30,000	0	30,000	
地震P	91	30,000	0	30,000	
その他	92	0	0	0	
管理費	100	255,000	146,786	108,214	
ホームページ	101	25,000	0	25,000	
通信運搬費	102	100,000	61,786	38,214	
事務費	103	50,000	0	50,000	
事務委託費	104	80,000	85,000	-5,000	
予備費	110	100,000	0	100,000	
当期支出合計		1,515,000	1,408,696	106,304	
当期収支差額		-115,000	434,489	-549,489	
次期繰越収支差額		617,207	1,166,696	-549,489	

監査報告

平成22年度(社)日本地すべり学会東北支部の会計監査の結果、適正に会計処理されていると認めます。

平成23年7月11日付

会計監査

宮城県農林水産部森林整備課長 印

秋田県建設交通部河川砂防課長 印

### 第3号議案 平成23年度事業計画（案）

例年の事業内容に加え、会勢拡大あるいは社会貢献のための活動を積極的に展開する。

#### 1) 総会・意見交流会

##### ① 総会

平成23年7月15日(金)に開催。会場は東北工業大学八木山キャンパス 131番教室。

##### ② 意見交流会

大震災を考慮し、今年度は中止とする。

#### 2) 特別講演会・地すべり研究発表会

##### ① 特別講演会：講演者は東北工業大学名誉教授・盛合禎夫に依頼。

題目「(仮題)地すべりのルーツを構造地質学的の解明する」

##### ② 東日本大震災報告：3名の支部幹事の方に斜面災害の報告予定。

#### 3) 現地検討会

輪番制(山形-秋田-福島-宮城-岩手-青森、これまで4巡目完了)としてきたが、当該年度は2008年岩手・宮城内陸地震の災害を振り返る行事とする。輪番制の再開については今後検討する。

#### 4) 講習会

空中写真による地すべり危険度判定技術講習会およびGIS講習会を同時開催。東北学院大学泉キャンパス・宮城研究室で実施。期間は二日間、定員10名程度予定。

#### 5) 社会貢献・会勢活動

##### ① 緊急災害調査団の派遣

##### ② 出前講座、研修への講師派遣

##### ③ 県単位の土砂災害緊急調査への協力

土砂災害防止法の改正(平成23年5月1日施行)に伴い、都道府県で緊急調査を行うことが(大規模な土砂災害を除く)義務づけられた。このため、学会等による調査結果の検討などの支援システムづくりの動きが出ており、これに協力する。

##### ④ 市民フォーラム等の開催あるいは協力

平成20年岩手・宮城内陸地震発生から3年を迎える栗原市では災害の伝承や地震災害遺産の広域観光化などをテーマとしたシンポジウムなどの事業を計画している。支部への協力要請を検討しており、協力の方向で進める。

#### 6) 研究活動

##### ① 地震地すべりプロジェクト 第8分科会 「岩手・宮城内陸地震」小分科会。

#### 7) 他学協会との合同活動

##### ① 東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会の参加

##### ② 仙台市の被災宅地復旧対策審議への参加

#### 8) 広報活動

① 支部だよりの発行。昨年度末に発行予定であったが、震災のため発行できなかった。発行時期を8月末をめどにNO.25を発刊予定。

② ホームページの更新・リメイク。常時のupdate, かつ過去の記事も年次で整理してコンテンツの内容充実。また、一般市民・学生向けにも分かりやすい地すべりの解説や事例などの掲載にも努力する。

#### 9) 運営委員会、幹事会、役員会

##### ① 運営委員会(予定:年度終了直前 1回)

##### ② 幹事会(予定:総会開催前、現地検討会開催前、支部運営委員会開催前 計3回)

##### ③ 役員会(予定:随時)

第4号議案 平成23年度収支予算(案)

(収入の部)

(単位：円)

科 目	当年度予算	前年度予算	増減	備考
本部交付金	300,000	300,000	0	
助成金	300,000	300,000	0	
協賛金・寄付金	400,000	400,000	0	
支部協賛金	400,000	400,000	0	
事業収入	550,000	700,000	-150,000	
意見交流	0	150,000	-150,000	
現地検討	450,000	450,000	0	
講習会	100,000	100,000	0	
雑収入	0	0	0	
利子	0	0	0	
当期収入合計	1,250,000	1,400,000	-150,000	
前期繰越収支差額	1,166,696	732,207	434,489	
収入合計	2,416,696	2,132,207	284,489	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	当年度予算	前年度予算	増減	備考
総会関係費	100,000	100,000	0	
事業企画費	110,000	110,000	0	
運営委員会	5,000	5,000	0	
幹事会	5,000	5,000	0	
役員会	5,000	5,000	0	
部会	5,000	5,000	0	
通常旅費・交通費	80,000	80,000	0	
緊急調査費	5,000	5,000	0	
資料	5,000	5,000	0	
事業運営費	1,220,000	920,000	300,000	
意見交流	0	150,000	-150,000	
特別講演・報告会	20,000	60,000	-40,000	会場費
現地検討会	450,000	450,000	0	
支部だより	400,000	150,000	250,000	
会勢活動	50,000	5,000	45,000	シンポ
他学会共催行事	200,000	5,000	195,000	合同調査委員会
講習会	100,000	100,000	0	
研究委員会	30,000	30,000	0	
地震地すべりP	30,000	30,000	0	
管理費	380,000	255,000	125,000	
ホームページ	100,000	25,000	75,000	移設
通信運搬費	150,000	100,000	50,000	
事務費	50,000	50,000	0	
事務委託費	80,000	80,000	0	
予備費	100,000	100,000	0	
当期支出合計	1,940,000	1,515,000	425,000	
当期収支差額	-690,000	-115,000	-575,000	
次期繰越収支差額	476,696	617,207	-140,511	

## 第5号議案 代議員選挙の実施について

平成23年7月26日

### 代議員選挙の実施について

社団法人日本地すべり学会

選挙管理委員会委員長 廣嶋孝也

社団法人日本地すべり学会定款第11条2項に定める代議員選挙を下記の日程で実施しますのでお知らせします。代議員候補者は各支部からの推薦候補者から選定されることとなります。詳細の手続きは本学会本部または各支部のHP等をご参照下さい。

#### 記

#### 1. 代議員の役割

代議員の役割については、社団法人日本地すべり学会定款に示されています。定款第20条によれば、代議員で構成する総会は定款の変更、事業計画及び収支予算並びにその変更等々、業務の執行に関する事項を決議する役割を有します。一方、理事の役割は定款第13条第4項で「理事で構成する理事会は業務を執行する」と定められています。詳しくは社団法人日本地すべり学会定款（平成23年度通常総会資料 pp.32-42）をご参照下さい。

#### 2. 選挙人並びに代議員候補者の要件

社団法人日本地すべり学会の正会員であること。

#### 3. 代議員への立候補の方法

社団法人日本地すべり学会代議員選挙細則第2条2項に基づき、様式~~（別記1）~~により、所属する支部の支部長宛~~（office@landslide-soc.org）~~にメールで立候補の応募をして下さい（第一次推薦希望）。立候補者数が支部に割り振られた代議員推薦候補者数よりも多い場合には、支部からの推薦候補者にならない立候補者が生じます。そのような場合において、さらに立候補を希望する時には、20名の推薦人名簿を添えて、再度支部長宛~~（office@landslide-soc.org）~~に立候補を申し出ることができます（第二次推薦希望）。詳細は、本学会本部または各支部HP等をご参照下さい。

#### 4. 概略日程

8月1日；第一次代議員候補者推薦希望（立候補）受付開始

8月10日；第一次代議員候補者推薦希望（立候補）締め切り

8月12日；支部推薦代議員候補者選定結果通知

8月19日；第二次代議員候補者推薦希望（立候補）締め切り

8月22日；支部推薦代議員候補者決定・選挙管理委員会へ通知

8月26日~~～8月29日~~；候補者名簿を正会員へ郵送

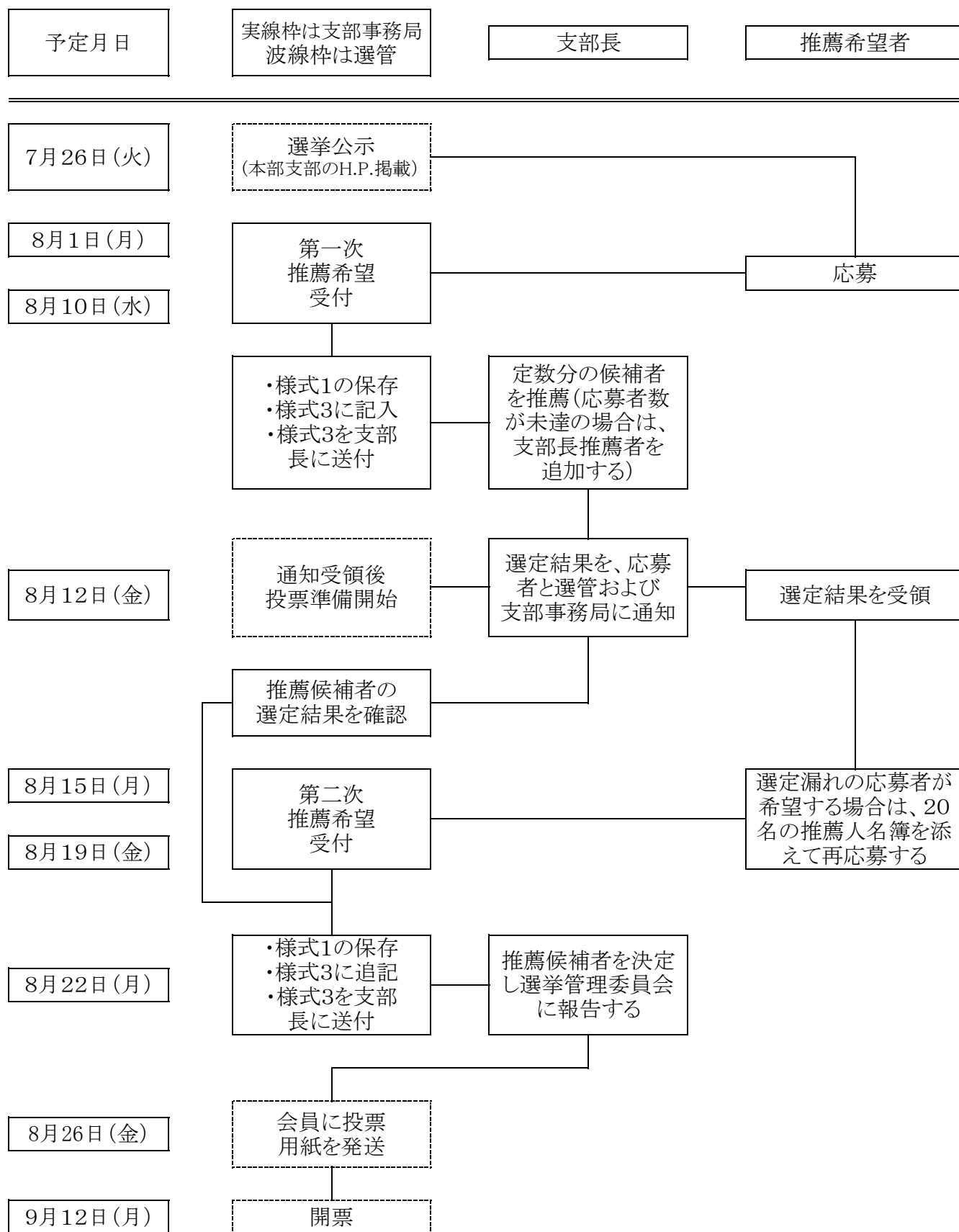
郵送による信任投票

9月12日～；開票（9月12日までの消印有効）

当選人の決定・公告

以上

## 代議員選挙の手順(案)



東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会の設置について

土木学会東北支部長	大村達夫
地盤工学会東北支部長	飛田善雄
日本地すべり学会東北支部長	檜垣大助
東北建設協会理事長	菅原政一
日本コンクリート工学会東北支部長	月永洋一
日本建築学会東北支部長	田中礼治
日本都市計画学会東北支部 設立準備委員会委員長	相羽康郎

2011年3月25日に、東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会（土木学会東北支部、地盤工学会東北支部、日本地すべり学会東北支部、東北建設協会、日本コンクリート工学会東北支部、日本建築学会東北支部・日本都市計画学会東北支部設立準備委員会）を発足しました。その運営のために、下記のとおり委員長、副委員長、幹事長ならびに部門統括兼幹事を選任します。

I. 組織

(1) 名称：東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会

(2) 構成

- ・ 委員長 : 真野 明 (東北大：土木学会)
- ・ 副委員長 : 鈴木基行 (東北大：土木学会)  
飛田善雄 (東北学院大：地盤工学会)  
千葉則行 (東北工業大：日本地すべり学会)  
金内 剛 (東北建設協会)  
月永洋一 (八戸工業大：日本コンクリート工学会)  
田中礼治 (東北工業大：日本建築学会)  
相羽康郎 (東北芸工大：日本都市計画学会)
- ・ 幹事長 : 京谷孝史 (東北大：土木学会)
- ・ 副幹事長 : 風間基樹 (東北大：地盤工学会)  
久田 真 (東北大：日本コンクリート工学会)

(各部門統括兼幹事)

- ・ 第1部門 (地震工学, 構造工学) : 中村 晋 (日大), 岩城一郎 (日大)
- ・ 第2部門 (河川工学, 海岸工学) : 田中 仁 (東北大), 今村文彦 (東北大)
- ・ 第3部門 (地盤工学) : 風間基樹 (東北大), 吉田 望 (東北学院大)
- ・ 第4部門 (土木計画・都市計画) : 奥村 誠 (東北大), 福本潤也 (東北大)
- ・ 第5部門 (コンクリート工学) : 久田 真 (東北大), 皆川 浩 (東北大)
- ・ 第6部門 (土木施工) : 加納 実 (鹿島建設), 金内 剛 (東北建設協会)
- ・ 第7部門 (環境工学) : 後藤光亀 (東北大), 李 玉友 (東北大)
- ・ 第8部門 (建築工学) : 田中礼治 (東北工大), 源栄正人 (東北大)



## II. 主な活動内容

- (1) 各学会本部または支部が構成する調査団の現地支援
  - ・ 東北地方太平洋沖地震被害に関する東北支部学術合同調査委員会（以下、支部学術合同調査委員会とする）は、学会本部または支部が構成する調査団の活動予定（調査対象地域、日時、人数）について事前に連絡を受け、当該調査地域または構造物を管轄する各種機関（東北地整など）への連絡・調整を行って、調査活動を効率よく円滑に実施するための支援を行う。なお、調査団には支部合同調査委員会が準備する腕章を貸与する。
- (2) 被災地のインフラを管理する各種機関（東北地方整備局、NEXCO 東日本、JR 東日本、東北建設協会、東北電力など）等との連携
  - ・ 支部学術合同調査委員会は、各種機関（東北地方整備局、NEXCO 東日本、JR 東日本、東北建設協会、東北電力など）から被害状況についての情報を収集し、これに基づき、学会本部または支部が構成する調査団の活動目的に応じた調査場所選定に関する助言、調査場所の管理団体等への協力要請等を行う。
- (3) 支部学術合同調査委員会独自の調査
  - ・ 支部学術合同調査委員会は独自の調査を行う。なお、調査にあたっては、学会本部または支部が構成する調査団の活動と連携し、調査が重複することのないように留意する。
- (4) 海外からの調査協力申し出に対する対応
  - ・ 海外からの調査協力の申し出があった場合には、「海外からの調査協力申し出への対応（2011.3.18. 土木学会東北関東大震災対策本部）」に順ずる。

## III. 各部門統括兼幹事の役割

部門統括兼幹事は以下の任務を遂行する。

- (1) 各部門調査委員の人選。
- (2) 各学会本部が派遣する当該部門調査団の支援。
- (3) 独自の調査活動の企画と実施

## 東北支部表彰規程

### 総則

第1条 (社)日本地すべり学会東北支部 ~~規程第1-4条~~ 運営規程第10条 に基づき、この規程により表彰を行う。

### 表彰委員会

第2条 賞を選考にするために表彰委員会(以下【委員会】という)を設置する。

2. 委員会の長は、支部長とする。

3. 委員会は、支部長、副支部長、幹事長、副幹事長、幹事若干名で構成する。

### 東北支部賞

第3条 表彰は、東北支部賞を授与して行う。東北支部賞は、独創性もしくは創意工夫等に優れたものと認められ、原則として次のいずれかに該当する業績を対象に個人(複数可)に授与する。

- (1) 東北地域の特性を考慮した優れた工事計画、工事实績、工事に関連した調査及び計測等。
- (2) 東北地域での活用性、汎用性に優れた技術の開発および実用化等。
- (3) 東北地域の独創性、特殊性が活かされた学術的に優れた研究論文および研究報告等。
- (4) 地すべり分野の関係技術者の育成および技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等。
- (5) 地すべり分野のPRおよびイメージ向上に貢献をしたと認められる業績等。
- (6) 東北支部の活動に永年従事し、顕著な功績をしたと認められる業績等。

### 応募

第4条 東北支部賞の応募は、別途定める応募要領による。

### 審査および決定

第5条 応募業績の審査および受賞業績の決定は委員会で行う。

### 表彰

第6条 総会において支部長が賞状を授与する。

付則 (平成15年6月6日支部総会議決)

(平成16年6月4日支部総会議決)

1. この規程は、平成15年4月1日より施行する。
2. この規定は、平成23年7月15日より施行する。